

2/14 月

首相、大岡氏の更迭拒否 雇調金問題

岸田文雄首相は十三日、第一次内閣発足から一ヶ月超を経て、首相として初めて一問一答形式となる予算委員会の審議に臨んだ。

立憲民主党の小川淳也政調会長は、大岡敏孝環境副大臣＝滋賀1区＝や内閣官房参与を辞任した石原伸晃・元自民党幹事長が代表を務める政党支部による雇用助成金の受給問題について質問。「（政党助成金などの）安定的な公費で支えられているのに、安易に「口ナ禍で苦しむ方々と同様に受け取るという判断は不適切だ」と指摘し、大岡氏の引責辞任を求めた。

首相は「適法ではあるが、国民の疑問は理解できる」と指摘した上で、石原氏の辞任を陳謝。一方、大岡氏の更迭は「それぞれの立場で身の処し方を判断する」とが重要」と否定した。大岡氏も「仕事を全うしたい」と拒んだ。